

奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民投句
令和元年十二月度 入選句（投稿総数二千六百六十四句・一般投句数七百十八句）

特選

御手洗の水音冬日をあふれしむ

大垣市

佐藤 すみ子

冬の陽にかがやく清らかな水がながれる御手洗。その豊かな水の音に冬の日を重ね、あふれさせると詠む。清浄な冬のおだやかな境内の様子をみごとにとらえた佳句。水音を耳に手を合わす作者の後ろ姿も見える。

空つ風 全身で押し登校児

静岡県藤枝市

山本 紫苑

空つ風は。上州（群馬県）の名物であるが、強い北風はこのあたりではさしずめ伊吹嵐であろうか。その強い北風にむかつて登校する子どもたち。その姿を全身と押しすとりえた。

頬をまっかにして登校する子どもたちに、未来にむかつても全身で歩んでほしいと願う、作者の眼差しがそこにはある。

流星や看取りし夫に手をからめ

養老郡養老町

佐藤 祥子

夫を介護されている日々なのだろうか。夫の手をとり、やさしくいたわる妻。ふと窓をみると流れ星が。流れ星は、落ちるまでに願事を唱えるとかなうという。次の流れ星には作者はきくと、夫の回復をねがうにちがいない。しみじみとした情愛が伝わる。

秀逸

ピル風の吹き込む芝生冬たんぽぽ

大垣市

清水 迪子

冬耕の畝の先より暮れにけり

大垣市

樋口 絹子

草紅葉坐れば風の動きだす

大垣市

松岡 みつ

秋陽受け阿修羅は自在手を拵げ

奈良県生駒市

金子 真由美

ト口箱の底から太き秋刀魚買ふ

不破郡垂井町

北村 廣美

石仏を包みこみたる彼岸花

不破郡垂井町

中西 弘子

点滴の小児病棟小鳥来る

大垣市

傍島 隆

隙間風漸く解けた方程式

大垣市

中山 あや子

大木も草も応える神渡し

大垣市

安田 むつこ

風音をころがしてゐる木の葉かな

長野県下伊那郡

長沼 まさし

入選

一樹には一樹の威厳十二月
仏舍利堂銀杏落葉のただ中に
一発の銃声呑んで山眠る
天を突くメタセコイアの冬木立
松手入終へたる庭の軽さかな
秋霖や獣の匂ふ東大寺
追ふ鳥も追はるる鳥も石露の花
木の実落つしじまの中の武家屋敷
枯蓮田土手には小さきくつの跡
枯れてなほ姿勢崩さず大賀蓮

養老郡養老町 田中 秀草
福井県敦賀市 山田 美千代
大垣市 村田 通夫
不破郡垂井町 高木 治子
大垣市 末守 節子
奈良県生駒市 金子 真由美
大垣市 鶴田 信子
大垣市 野村 みち代
養老郡養老町 山田 順子
東京都狛江市 椎野 一恵

入選

甘鯛の鰓のあらはに朝の市
いくつもの淋しさに慣れ煮大根
布を裂くごと水脈ひく鴨の群れ
赤蕪の赤の染みゆく塩加減
茅茸の苔の艶めく夕時雨
聴診の深き医師の目秋澄めり
醵酒や酔ひて饒舌浜言葉
寡黙なる人の背丸く大根引く
富士の嶺へ白を連ねて掛大根

大垣市 野村 多佳子
養老郡養老町 佐藤 祥子
不破郡垂井町 中嶋 笑子
大垣市 高木 歌佐
三重県四日市市 後藤 允孝
安八郡神戸町 高橋 泰
静岡県藤枝市 山本 紫苑
三重県津市 村山 好昭
岐阜市 堀江 美州

選者吟

枯るる野の真中を流れ長良川

さち子